

1, 初めてのポーカー用語 とりあえず最低限の用語です！

アクション(行動):

ベット: 賭け金を積むこと。(レイズの種類だが、最初に賭け金を積むことをベットという。)

レイズ: 賭け金を上乗せすること。(誰かが既にベットしている時に、さらに上乗せすること。)

チェック: まだ誰もベットやレイズしてない時に、自分も賭け金を上げずにパスすること。

コール: 相手のベットやレイズを受けて、同額の賭け金を積むこと。

フォールド: 手札を捨てて勝負を降りること。

のび太「しずかちゃん、僕と公園に遊びに行こうよ！」(ベット)
スネ夫「それより僕とプライベートジェットでハワイに行こう♪」(レイズ)
しずか「ハワイ！素敵♪」(コール)
のび太「くっ・・・」(フォールド)

マック: 手札を捨てて勝負を降りること。フォールドと同じ。

「あまりの不味さに俺はそのハンバーガーをマックした」

チェックレイズ: 一旦チェックして、相手がベットして来たらレイズを返す事

(牛丼屋で見た実話)
女子高生A「私ダイエット中だからウーロン茶だけにする」
女子高生B「お腹すいたから私は牛丼並食べよ」
女子高生A「わ、私やっぱり牛丼大盛りにする！」
「(あ、チェックレイズだ！)」

ブラフ: 相手が降りることを期待して、弱いハンドでベットやレイズをすること。

セミブラフ: 現状では弱い手だが、後に出るカードによっては強くなる可能性あるハンドでベットする事。ドローハンドなどで用いられる。

週刊誌「ついにあのアイドルが脱いだ！！」
「マジかよ！どれどれ(袋とじ開ける)」
週刊誌「残念セミヌードでした！」
「セミブラフに騙された・・・」

オールイン: 手持ちのチップを全部賭けて勝負すること。

手札:

オフスート: カードのマークが違っている手札の事。(例: A♥K◇、A♠2♣、K◇J♠など)
AKoの様に小文字のoで略される。
尚、[10]は[T](Tenの略)と表記されることが多い。

「紹介されたのどんな子だった？」
「AToて所かな」
「結構いいハンドじゃん」
「いや、阿藤快到似てるんだ・・・」

スーテッド: カードのマーク(=スート)が同じであること。(例: A♥K♥、A♠2♠、K◇J◇など)
AKsのように小文字のsで略される。

スーテッドコネクター: 同じマークで連番の手札の事。(例: 6♥7♥、8♣9♣、J♠Q♠等)。

「俺と弟はまるでスーコネの様に育って来た」
「仲良いもんね」
「でも弟の方が先にペアになっちゃったんだ・・・」

コネクター: 78のように数字が繋がっている手札。

ワンギャッパー: 86のように数字が1つ離れている手札。

「80歳のウチの爺ちゃん、20歳の子と付き合ってるらしいんだ」
「59ギャッパー!？」

ツーギャッパー: 69のように数字が2つ離れている手札。

「69ってツーギャッパーだよな？」
「いや、コネクトしてるよ。」

キッカー: 二人とも同じ強さの役が出来ていた場合、勝負はそれ以外のカード(キッカー)の強さで決まる。

例えばボードが[A][7][7][9][J]でああなたの手札がAK、相手がAQならばキッカー(K)の差でああなたの勝ちとなる。

貴方のハンド: [A][A][7][7][K]

相手のハンド: [A][A][7][7][Q]

となるからだ。

しかし同じボードで、例えば貴方のハンドが[A][10]で相手のハンドが[A][8]だった場合は引き分けとなる。なぜならば、

貴方のハンド: [A][A][7][7][J]

相手のハンド: [A][A][7][7][J]

となり、双方のキッカーが場に出ているJとなるからだ。

(お互いのハンドは「手札2枚と場札5枚の中から選ぶ最強の組み合わせ」だから、手札の[10]や[9]は使用しない。)

「俺とあいつと、どこが違うって言うんだ。顔も性格も同じくらいだろ！？」

「だってA君は、お父さんが社長なの」

「くっ、キッカーの差か・・・」

セット: 手札のポケットペアが、ボードでスリーカードとなる事

(例: 手札[J][J] ボード[J][9][3])

「今まで黙っていたが、実はお前達は双子ではない。三つ子なんだ」

「俺たち三人セットだったのか！？」

「それだけじゃない、双子の妹達もいるんだ。今日からみんなと一緒に暮らすぞ」

「みんな揃ってフルハウス！」

トリップス: ボードにペアが出た時に手札と合わせてスリーカードが出来た時の事を言う。セットと似ているが、違うので注意。

(例: 手札[J][Q] ボード[J][J][3])

「トリップスって扱いが難しからキライ」

「え、俺は大好きだよ。すごい興奮するじゃないか！！」

「ストリップと間違えてない？」

ドロウ: 役を完成させるためにはカードを引いてヒットさせる必要がある状態。

たとえばボードが[7♥][8♥][2◇]で手札[A♥][5♥]ならば、フラッシュへのドロウがある。

同じボード(場札)で手札が[9][10]ならば、ストレートへのドロウがあることになる。

コミュニティカード(共通カード):

フロップ: 最初に配られる3枚の場札(共通カード)のこと。

ターン: 4枚目の場札(共通カード)のこと。

リバー: 5枚目の場札(共通カード)の事

「台風とかけてまして、ドロウハンドと解きます」

「その心は？」

「うかつにリバーを見に行くと死にます」

2,ポーカー用語の基礎知識

ポーカー本や攻略サイト読むのに役立つよ！

プレイヤーのタイプ:

フィッシュ:弱いプレイヤー、いわゆるカモの事。

シャーク:フィッシュを捕食する、強いプレイヤーのこと。

(イメージ画像)[フィッシュに群がるシャークの図](#)

タイト:強い手でしか参加しないスタイルのこと。

パッシブ:あまりベットせず、強い手がなければすぐ降りる弱気なスタイルのこと。

ルース:いろいろな手で数多く参加するスタイルのこと。

アグレッシブ:ベットやレイズの多い攻撃的なスタイルのこと。

ルースアグレッシブ:多くのハンドで参加し、積極的で攻撃的なスタイルの事

「ルーズソックス最高！誰のでもいいからちょうだい！！」

「すごいルーズアグレッシブだ！」

マニアック:極端にアグレッシブなスタイルのこと。

ロック:著しくタイトなプレイヤーの事

「あいつ金遣いは荒いし、女遊びも激しい。でもポーカーは超タイトなんだよなあ。」

「そりゃあロックだね。」

ニット:ロックをさらに越える堅いプレイヤーの事

「プレミアハンドでしか参加したくないでござる」

「お前ニットだな。ニートだけに。」

コーリングステーション:こちらのベットにまったく降りない人の事。

「あの人の事全然好きじゃないんだけど、なんでも買ってくれるのよね」

「あんたいいコーリングステーションみつけたわね」

トーナメント用語:

バイイン(Buy in):

参加費のこと。たとえば「バイイン \$100+\$9」と書かれている場合、\$100は賞金プールに回され、\$9は運営手数料に回される。

アドオン:

チップを買い増しすること。また、リバイーナメントにおいてリバイ期間の終了時に(持ちチップ量にかかわらず)チップを買い増すことができる制度のこと。

トーナメントによっては割増でチップをくれるものがある。

たとえば、参加時やリバイ時には\$10で1500点チップをもらえるが、アドオン時には\$10で3000点がもらえたりする。こういったトーナメントでは自分の持ちチップ量に関わらず必ずアドオンすべきである。

レイトレジスト:トーナメントの途中から参加する事。トーナメントの種類によって有利な場合と不利な場合とがあるので注意。KO方式のものは最初から参加すべきで、3x-turboなどアドオンがあるものは締切終了ギリギリに登録すべし。

牛歩戦術:ハンドを意図的にゆっくりプレイすること。入賞直前や順位を上げて賞金を上げたい場合に有効。

A「あれ、Bってまだ就職してなかったの？」

B「レイトレジストと牛歩戦術してるからな」

A「浪人して留年もしてるってこと？」

ITM(インザマネー):トーナメントで入賞する事。略してインマネとも言われる

「やったこれでトーナメント10連続ITMだ！」

「いいなあ。俺なんか負けっぱなしで、ずっとATMだよ」

確率:

アンダードッグ:

勝つ確率が低いほうのハンド。例えば、AAとJJがオールインになった場合は、JJがアンダードッグである。AJ対KQでは勝率が大体6:4なので、KQがアンダードッグである。

⇔対義語:フェイバリット

フェイバリット:

勝つ確率が高いほうのハンド。例えば、AAとJJがオールインになった場合は、AAがフェイバリットアンダードッグである。AJ対KQでは勝率が大体6:4なので、AJがフェイバリットである。

⇔対義語:アンダードッグ

アウト:自分の手を、相手より強くする場札のこと。

例えば貴方のハンドがA♥2♥でボードが7♥8♥Q♠の場合、現状はブタですが次にハートかエースが落ちれば勝てそうなので、それらがアウトと言えます。

オッズ:ポットオッズのこと。「獲得できそうなポット」対「費用」の比。

たとえばポットが\$100で相手が\$50をベット、コールには\$50が必要という場合。

既にポットに入っているチップは\$150なので、ポットオッズは\$150:\$50=3:1となります。

インプライドオッズ: (ハンドが完成した場合に得られる) 将来的なポットも考慮した上で算出するオッズ。

「公務員のA君とフリーターのB君、いったいどっちを選んだらいいの？」

「A君でいいじゃない」

「でもB君はバンドをやってるのよ。もしかしたら将来有名になるかもしれないじゃない？」

「インプライドオッズがある訳か・・・」

リバースインプライドオッズ: 相手が自分より強いハンドを手にした(持っていた)時に大きく負けることを考慮してオッズの計算を行うこと。

課長「A、俺が奢ってやるから飲みに行こうか」

A「すみません、用事があるからお断りします。」

B「せっかくのタダ酒なのにもったいないな、俺なら即コールだわ」

A「いや、この前飲みに行って酷い目にあつたんだ」

B「リバースインプライドオッズを考慮したのか」

4倍と2倍の法則: 「次のカードでアウトを引き当てる確率は、アウトの数*2倍であり、次かその次(つまり、ターンかリバー)で引き当てる可能性はアウトの数*4倍である」という法則。

例えば貴方のハンドが5♥6♥でボードが7♥8♥Q♠の場合、アウトの数は

[A♥][2♥][3♥][4♥][9♥][10♥][J♥][Q♥][K♥][4♣][4♠][4◇][9♣][9♠][9◇]の15枚。

ターンでアウトを引ける確率は15枚*2倍＝約30%。

ターンかリバーでアウトを引ける確率は15枚*4倍＝約60%となる。

その他:

アイソレート: レイズして相手を一人だけにすること

A「あの娘に話しかけたいんだけど、いつも隣にブス子がいるんだよなあ」

B「よし、じゃ俺がブス子を連れ出してアイソレートしてやるよ」

～数日後～

B「ブス子と付き合う事になった」

A「アイソレートされたのお前の方!？」

アジャスト:

自分の利益を上げるために、対戦相手のプレイングに対応してこちらのプレイを調整すること。ジャンケンでいつもパーを出す人に対しチョキを出すのも一種のアジャストである。

「あるポーカー掲示板で大喜利やってるんだけど、どんどん下ネタが増えてるんだ」

「へえ、それはどうして？」

「主催者が下ネタに弱いという癖(テル)を見抜いてるんだよ」

「流石ポーカープレイヤー、アジャストが上手いね」

エッジ: そのゲームや相手に対して優位性がある事。

「ポーカーに関しては俺は明らかにエッジがあるぜ」

「おでこのエッジはずいぶん後退してるけどね」

オープン: 一番最初にレイズ、またはベットする事。

「夕べの飲み会の記憶が全然ない」
「また一番にオープンしてたよ」
「だから裸だったのか・・・」

オリジナルレイザー: 最初にレイズ、した人のこと。

安倍晋三「消費税を引き上げるのも楽じゃないよ」
橋本龍太郎「分かる、分かるよその気持ち」
竹下登「私の気持ち、君たちに分かるかね？」
安倍・橋本「貴方は・・・オリジナルレイザー！」

ギャップコンセプト: 「自分より前のプレイヤーがベットやレイズをしていた場合、そのポットに参加するには通常よりも強いハンドが必要となる」という概念。ただし相手が非常にルーズなプレイヤーの場合はその限りではない

「彼女にはお金持ちのフィアンセがいるんだ」
「ギャップコンセプトだ、あきらめろ」

グラインド(グラインダー): 金を稼ぐために、自分のレベルよりも低いステークスでプレイする事(人)

「ちょっとバンクロールが寂しくなったからグラインドして来るわ」
「今より下のステークスって、プレイマネーしかないけど？」

下振れ(上振れ):

トラッキングソフトなどで確認できる期待値(allin EV)から、実収支が下に(上に)乖離しているということ。
下振れした時だけ周りにしゃべり、上振れしたときは逆にあまりしゃべらないのがポーカープレイヤーの性質である。

「ちくしょう！ 見ろよこのグラフ！ これで五日連続下振れだ！ やってらんねーぜ！」
「まあティルトするなよ、ポーカーに出会えて人生上振れしたと思えばいいじゃないか」
「ありがとう、元気が出たよ。ポーカーにハマりすぎて彼女に振られたけど、ポーカーに出会えたことが上振れだな」
「(こいつ人生もポーカーも下振れしてるな)」

シャークスコープ: オンラインポーカーのトーナメントでの成績が見られるサイト

「シャークスコープでもっと詳しい成績が見られる様になったみたいだよ」
「どれどれ、自分の成績を見てみよう」
【眼鏡の女教師に「こんなドロウも引けないの！」と蔑まれながら、全裸で尻を叩かれるのが好き】
「これ俺の成績じゃなくて性癖だ！」

ショートスタックストラテジー(SSS):

テーブルに持ち込むスタックサイズ(チップ量)をあえて小さくする戦略。

大きな利益を得られない反面大きな損失を防ぐ効果がある。
難しい判断を迫られる場面が少ないので比較的初心者に向いている。

[⇒ショートスタック戦略入門](#)

A「よし、もう一軒のみに行くぞ」

B「すいません、今日はもう手持ちが1500円しかないです。」

A「仕方ない、足りない分はおごってやるからついて来い！」

B「ありがとうございます」

C(あの野郎、貯金はあるくせにSSSを使って出費を減らしやがって)

[ショウダウンバリュー](#):一番最後のショウダウン(手札の開示)まで行けば、それなりに勝っている可能性がある事

「私バスト70、ウエスト80、ヒップ90なの」

「それショウダウンバリュー0だね」

[スキャンジナビアンレイズ](#):コンティニューエーションベットに対してミニマムレイズをすること。ブラフと強い手にポラライズして使用される。

「お前の紹介してくれたP子ちゃんデートに誘ったんだけど、1回目のデートなのにいきなりプロポーズされたんだよね。びっくりして断っちゃったよ」

「あいつはそれよくやるんだよね。本気かどうか試してるんだよ」

[スモールボール](#):小さいポットをコツコツ獲得するプレイスタイルの事

「お前のプレイスタイルはスモールボールだな」

「し、失礼な事言うなよ！ふ、普通サイズだよ！？」

「？」

[ティルト](#):頭に血が登り、冷静な判断が出来なくなる事。バッドビートを食らった時などに起こる。通常時は良いプレイができるのに、ティルトした時にプレイが大きく崩れて大負けするプレイヤーもしばしば。

[ドアカード](#):スタッド系の種目では、最初に三枚のカードが2枚は裏向き、1枚は表向きの状態で配られる。この表を向いたカードの事をドアカードと言う

「A君ってイケメンよね～」

「止めた方がいいよ。いいのはドアカードだけで、中身はクズだから」

[ドミネイト](#):AKとAQの様に、片方がもう片方に対して非常に高い勝率を持っている事

「カツカレーはただのカレーを完全にドミネイトしている」

[ナッシュ均衡](#):ゲーム理論的に最適なプレイの事。隙のないプレイが出来るが、相手の隙が大きい場合はその弱みにつけこむプレイの方がより大きな利益を出せる。ちなみにナッシュはこれを提唱した数学者の名前。

「あ～、インマネギリギリで飛んでしまった。今のプレイは失敗だったかな」

ナッシュ「いえ、理論的には正しいプレイです」
ティッシュ「さあ、涙をふいて」
キッシュ「ちょっと腹ごしらえをしましょう」
「後ろの二人誰だ」

ナッツ: ボードに出ているカードで作れる役の内、最強のものが出来ている事。
たとえばボードが[6][7][8]なら手札[9][10]があればナッツ。(フラッシュがないとして。)
ボードが[6][7][8][8]なら、手札[8][8]または[8][7]がナッツとなる。
(自分が[8][7]を持っていれば相手にフォーカードが入っていることは有り得ないので。)

「酒のつまみにはナッツがナッツだな」

トラッキングソフト: プレイした全てのハンドを記録し、参加率、レイズ率、3BET率、コンティニューエーションベット(CB)率、CBに降りる率などなど、ありとあらゆるデータを算出してくれるソフト。ライブでは熟練したプロにしかできない技術だが、これを使えばプロ以上に正確にそれをやってくれる。代表的なソフトとして「ホールデムマネージャー」や「ポーカートラッカー」がある。

ニューヨークバックレイズ: オリジナルレイザーにコールしたプレイヤーが、レイトポジションから3ベットスクイズしたプレイヤーに対して仕掛ける4ベットのこと。(オリジナルレイザーはフォールド)
AAなどの強い手であえてコールすることで、スクイズを誘いポットを膨らませる狙いがある。プレミアハンドを隠して相手のミスを誘う以外にも、逆に弱い手を強く見せようとブラフで使われることもある。

バムハント: 弱いプレイヤーを探して弱いプレイヤーとだけしか打たない事
「うわ～、なんでこっちを攻撃するんだ。まさか一番弱いのは俺!？」

「行け召喚獣バムハント! 弱いプレイヤーを見つけて狩るんだ!!」
「ギャーース!!!」

ヒーローコール: 弱いハンドを持っているが、相手がブラフをしていると読んでコールすること。

女神「あなたが落としたのはこの金の斧で...」
きこり「ボロいほう!!!!!!」
女神「.....あなたは正直者ですね....。では...」
きこり「しゃー———! 金の斧ゲッツ!!!!!!」

ボトムペア: その場に出ているカードの中で一番低いカードとペアになっている事
例: 手札[A][3]でボードが[K][5][3]
「見たかよあのブサイクなカップル。まさにボトムペアって感じだな」
「ノーペアの俺たちよりましだろ」

マージナル: 微妙だという事

【ポーカー川柳】
「弱い手で、マジになるのは、マージナル」

マーチンゲール:賭けに負けた時に、賭け金を倍にして負けを取り戻そうとする方法。何回かは上手く行くかもしれないが、いつか破産する危険なやり方

「うわ～ボロ負けした」
「大丈夫、あなたはまだ頑張れるわ」
「あなたは白衣の天使ナイチンゲール！」
「さあ賭け金を倍にして、一気に取り返しましょう」
「騙されるな、そいつはマーチンゲールだ！！」

ブラフ:手役を持っているように見せかけ、相手を降ろさせるプレイの総称。

ガチホモ「あたし、ストレートなのよ。」

ピュアブラフ:ショウダウンしたら完全に勝ち目のない手でブラフする事

AV女優「私、実は処女なんです」
「純粋(ピュア)ブラフ！？」

ポラライズ:両極化の事。バリューかブラフかのどちらかしかない時の事を言う。

例えば [7♥][8♥][K♠][3♣][A◇]のボードで相手がフロップ、ターン、リバーとベットしてきたとする。この場合、相手の持ちうる手の範囲は(ドローを引けなかった)ピュアブラフか、セットなどの非常に強い手かにポラライズ(両極化)されている。

「好みのタイプは小学生です」
「ロリコンかよ！」
「もしくは、50歳以上です」
「ずいぶんポラライズされてんなあ・・・」

ラグ:直訳すると「ボロきれ」。

自分の手にも相手の手にも無価値なカードのこと。または弱いカードのこと。

例:たとえば[K♥][J♥][8◇]のボードでこちらがベット、相手コール。ターンで[2♠]が落ちたが、これはお互いにとって関係なさそうなカードなのでラグカードと言える。)

あるいは、Aと弱いカードをを持っている時に「エース(と)ラグを持っている」と言う。

「彼女、俺の事どう思ってるかなあ？」
「ラグじゃない」
「え、ラブ？」
「都合のいい耳だなあ」

リーク:弱点となる癖の事。例えば3betを良く行うが4betにはすぐ降りると言ったリークがあるプレイヤーに対しては、そこを突いて行くのが非常に有効となる

「俺のリークって何だろう？」

「まずオツパイの大きな女に弱い事だな。それと酒癖が悪く、金遣いが荒い。強い者には媚びへつらい、弱い者にキツく当たる最低な性格で、おまけに口が臭い。ええとそれから」

「それぐらいで勘弁して下さい……」

リンプ: 最初にレイズではなく、コールで参加する事。自分が一番最初の参加者であるときは、リンプでなくレイズで参加した方が得な場合が多い。なぜなら、リンプするとBBはタダでフロップを見れてしまうからだ。

例外としては、ライブポーカーなど非常にルースかつレイズが少ない卓で、アーリーポジションからA2sや小さいペアで参加するような場合。多人数ポットで安くフロップを見て、強い手が出来たら大きく稼ぐことができるからだ。

レギュラー: ある特定のステークスのゲームよくいるプレイヤーの事。普通より熟練している事が多いが、そうでない者もいる。

「レギュラーになったらどうも厳しくチェックされてるみたいだな」

「すごいね、何のレギュラー？」

「消費者金融」

ABCポーカー: 基本に忠実な教科書通りのプレイスタイル。

誤解されやすいが、決して良いハンドしかプレーしないということではなく

適切にブラフを行ったり、基本的なテクニックを使いこなせるレベルになって初めてABCポーカーが出来ようになったと言える。

ポーカーを覚えたてのころは、ルースなプレーや極端にアグレッシブなプレーに憧れる人も多いが、まずは教科書通りにプレーできるようになることを目指そう。

A「恋のABCは完璧なんだけど、ポーカーのABCプレーはまだまだなんだ。」

だれか教えてくれる人はいないのかなあ」

B「まずは、その無駄なブラフをする癖をなくすことから始めよう」

BB(ビッグブラインド): プリフロップで一番最後にアクションするポジションの事。参加料として払うチップの事もビッグブラインドと言うがこの場合は小文字でbbと表記されるのが普通

A「あのBBのプレイヤー、凄いBBだな」

B「すごいBB？」

C「ビッグバストって事だよ。何bb払えば触らせてくれるかなあ？」

B「BB(バカばかり)だ」

HU(ヘッズアップ): 一対一の事

「次で100回目のHUだ！」

「恰好つけてないで、ちゃんとお見合いって言えよ」

IP(インポジション): 相手より後にアクション出来る席順。相手のアクションを見てから行動出来るため有利な場合が多い。

「IPって何が有利なの？」

「そうだな、例えばネットで知り合った子と初めて会うとするだろ？」

「うん」

「もし待ち合わせ場所にあんな感じのブサイクがいたら、会わずにこっそり帰ってしまえばいい。これがポジションの力さ」

「あそこにいるの、俺の彼女なんだけど」

lol: 英語で(笑)を意味するLaugh Out Loudの略語。ポーカー用語ではなく普通に使われる

「なんかチャットで外人に、ロリコン、ロリコンって言われるんだよね」

「lol」

OOP(アウトオブポジション): 相手より先にアクションしなければならない事。ポーカーでは不利な場合が多い

「相手より先にアクションしないとならないって辛いね」

「どうしたの？」

「カラオケで上司の十八番を先に歌っちゃったんだ」

「あちゃ〜」

Shove(シャブ): オールインする事

「shoveするとすごい興奮するよね！」

「おまわりさ〜ん！！」

2-7SD(シングルドロウ): ローゲームの1種。23457がナッツとなる。Aやフラッシュやストレートは非常に弱い手となる

「2-7シングルドロウは気軽に遊べるゲームだが、27歳シングルの女性と気軽に遊ぶと大変な事になる」

3bet(スリーベット): プリフロップでレイズした相手にリレイズする事。相手の3倍くらいにリレイズするのが適正とされる

「ねえ君の3betサイズを教えてよ？」

「女の子に3betサイズ聞くななんて失礼よ！」

「そんな事言わないで教えてよ？」

「もうしょうがないな〜。きゅ、9bbだよっ！ 誰にも言っちゃダメだからねっ」

+ (プラス): それ以上の強さのカードすべてを差す。例えばQQ+はQQ、KK、AAをAJ+ならAJ、AQ、AKを表す

「俺のストライクゾーンは女子高生以上だな」

「JK+か。」

3, チャットで使われる略語集(知らなくても問題ないよ！)

BR	=Bankroll 資金
CB	=Continuation bet コンティニューエーションベット
cuz	=cause 「なぜなら～」
cya	=See You Again 「またね！バイバイ」
donk,donkey	間抜け。(直訳すると「ロバ」)
fish	いわゆる「カモ」
gc	=Good Call。「ナイスコール」
gg	=Good Game。「いいゲームでした」
gld	=Good Lay Down 「ナイスフォールド」
hu	=heads up。ヘッズアップ。1対1の勝負。
HM	=Holdem Manager (分析ソフト)
idiot	馬鹿、間抜け。
ITM	=In the money 「入賞」
k	=OK
k	=kilo。1000単位の省略形。(例:\$100,000=\$100k)
lmao	=(I'm) laughing my ass off。「大爆笑だ。」「大笑いだ。」
lol	=Laughing Out Loud 「(笑)」「大笑いだ」
nc	=Nice Call。「ナイスコール」
nh	=Nice Hand 「ナイスハンド」「良い手だね」
NL	=No Limit ノーリミット
omg	=Oh My God 「なんてこった」
pffff	ためいき。「フー」
PT	=Poker Tracker ポーカートラッカー
PL	=Pot Limit ポットリミット
plz	=please プリーズ
sng	=Sit'n GO=Sit AND GO シットアンドゴー

STT	Single Table Tournament 「シングルテーブルトーナメント」
str8	=straight。(str"エイト") ストレートのこと
ttyl	=Talk To You Later 「またあとでね」
ty	=Thank You 「ありがとう」
u	=You
u2	=You too 「あなたも、おまえもな」
ur	=You areまたはyour
ul	=unlucky 。アンラッキー
vnh	=Very nice hand 「ベリーナイスハンド」
wtf	=What The Fuck 「何だこれ？(°Д°)ハア？」
wth	=What The Hell 「何だこれ？(°Д°)ハア？」
yup	YESの口語表現

おまけ 「とあるポーカールームでの風景」

オンラインポーカーでは時に煽り合いがおこります。
大抵、負けてる奴が最初に煽り出します。

煽られてムカつくかという、意外にそうでもなく、
むしろちょっと楽しかったりします。

その日入ったポーカールームも、

guderian(*°Д°) ←負けまくり

が

-AA-(°▽°) ←勝ってるらしい

に、からんでました。

そんなルームでのひとこま。

cc (*°3°) < (A♣Q♣) \$7レイズ！

guderian(*°Д°) < (7♥7♦) \$20オールイン！

コールしたらあっさり場にAが落ち、僕の勝ち。

そこでguderian(*°Д°)が一言。

guderian(*°Д°) < マヌケ野郎はみんなツイてやがる

cc (*°3°) < …。

僕にも火の粉がかかってきました。
ちょっとおもしろそうなので参戦してみます。

cc (*°3°) < オマエはツイてないマヌケだけどな

guderian(*°Д°) < 誰のことだ！？

guderian(*°Д°) < 俺のことか！？ホモの黄色いジャップ野郎！

cc (*°3°) < そういうオマエは…アルゼン…？

cc (*°3°) < どこだそれ？

cc (*°3°) < 財政破綻した国だっけ

cc (*°3°) < お前もそろそろじゃないの？

-AA- (°▽°) < ((笑))

もともと言い争いをしていた-AA-という人が追い討ちをかけます。

-AA- (°▽°) < いいから(金を)入れろよ。guderian

-AA- (°▽°) < ファック野郎

guderian(*°Д°) < HAHAHA!

guderian(*°Д°) < お前の妹のケツに7回入れてやるよ

guderian(*°Д°) < お前の妹はいい声で叫ぶ

-AA- (°▽°) < OK

-AA- (°▽°) < 彼女も喜ぶよ。

-AA- (°▽°) < エイズだけどな。

-AA- (°▽°) < 5歳の妹は。

-AA- (°▽°) < この世にエイズの5歳とやりたがる変態がいたとはな！(w

guderian(*°Д°) < まあ

guderian(*°Д°) < それはお前の母親に頼まれたんだけどな。

guderian(*°Д°) < 病気なのは俺じゃなくてお前の母親だな。

-AA- (°▽°) < (ブーイング)

guderian(*°Д°) < わはは！だがお前の\$328は魅力的だな。

guderian(*°Д°) < お前のケツと一緒にいただくかな。

-AA- (°▽°) < ついでに言うとXT@TXも5歳のケツが好きだな。

-AA- (°▽°) < 特に男の子の、エイズなしのが好物だ！

guderian(*°Д°) < わはは！お前オランダから来たのか？
guderian(*°Д°) < お前の国の未来の女王はアルゼンチン人だ！
guderian(*°Д°) < あはは！なんて間抜けな国なんだ！

-MARTIN-(´_ゝ´) < -AA-(°▽°)、レッスンしてほしいか？

-AA-(°▽°) < なんの？

-MARTIN-(´_ゝ´) < ポーカー。マーチンのポーカー教室。

-AA-(°▽°) < なぜ？

-AA-(°▽°) < 俺はいつも勝ってるよ

guderian(*°Д°) < そう、お前はいつも黒い太いチンコを勝ち取ってるよな

-AA-(°▽°) < XT@TX、ちょっともういっこのテーブルを试试看よ。

(guderian(*°Д°)は他のテーブルでもプレイして、ポコポコに負けているようです)

-AA-(°▽°) < guderian(*°Д°)はビョーキだ。全く勝てない病。

-AA-(°▽°) < そして俺はいまパシフィックポーカーのテーブルに\$1670ある

guderian(*°Д°) < おお

guderian(*°Д°) < お前はチャンピオンだ。

-AA-(°▽°) < そのとおりだ。

guderian(*°Д°) < お前はチンコしゃぶりのチャンピオンだ。

(双方お前はゲイだ、との罵り合い)

guderian(*°Д°) < AA= A big fat Asshole=永久童貞=だからポーカーで勝てる

guderian(*°Д°) < 俺は毎日ファックしてるから-AAに勝てない

guderian(*°Д°) < だが俺はこのあとブロンド女が口で奉仕してくれるからハッピーだ。

guderian(*°Д°) < すまない。もういかなきゃ。

guderian(*°Д°) < ブロンド女が待ってるんでね。

(と、いいつつテーブルに居残り続けるguderian)

ちょっとウケたw

4, ライブポーカーで使う用語集

ストラドル: BBの左隣が2BBを場に出すことで、プリフロップのアクションが最後になる仕組み。

キャッシュゲームでのみ可能。

イメージとしては、スモールブラインド・ビッグブラインドの次にビッグビッグブラインド(2BB)ができる感じ。期待値的には損なのでやらない方が良い。

ストラドルをするとポットが大きくなりやすいので「ギャンブル」するためにやる人もいる。

自分がBBの時にストラドルをやられると、最終アクションを取られる上に、チェックでフロップを見ることもできなくなるので損。自分がボタンなどレイトポジションの時にストラドルをやる人がいると、ポジション的に有利な時にだけポットが膨らみやすく、得となる。

なので頻繁にストラドルをやる人がいるテーブルでは、さり気なく有利な席に移動するのは有効な立ち回りである。

istringベット: ベットやレイズする時に何回かに分けてチップを出す事。

数度に分けてチップを出すのを許可すると、相手の顔色を伺いながらちよつとずつレイズ額を増やして行く奴とかが現れて鬱陶しいので禁止されている。

尚、「レイズ、\$200」のように先に声に出して言った場合はチップを数度に分けて出してもOK。

また、「レイズ！」と発声してから一旦コール額を場に差し出し、レイズ額を後から出すのもOK。

その場合もレイズ額分は一度に差し出す必要がある。

「istringベットは禁止なのかあ。あの上で飛び跳ねるのが大好きだったのに」

「それはspringベット！」

テル: 自分のハンドを相手に知らせてしまうような癖。

例: 強いハンドが入ったときに手が震えたり、首の血管がドキドキしてたり、『仕方ないなあ』のように逆に弱く見せるような態度をとったり。

男「体育館裏への呼び出し…。頬を赤らめ、もじもじした態度。クラスメートのキミへの

(頑張れ!)っていう応援。これは完全にテルだ! キミは僕に告白しようとしているね!

答えはイエスだよ! 僕も前から好きだった!」

女「いや、ごめん。体臭がキツイんで毎日シャワー浴びて貰えないかなって…!!!」

バイザボタン: 離席から戻ってきた時にちょうどSBの位置だった場合、SBとボタンはプレイできないので、最速でカットオフの位置から入ることになる。もしくはこの「バイザボタン」をすることにより、SBの位置でBB+SB分を支払ってBBになることができる。それが終わったらボタンをやることができる。

チョップ: 同じ強さのハンドでポットを分割すること。(引き分け。)もしくは、SBとBBまで全員フォールドで回ってきた時に、SB, BBがお互いにチップを戻して勝負無しにすること。

一度チョップした場合は、その卓において同じ相手とはその後も毎回チョップをしなくてはならない。また、右隣とチョップをしたら左隣りともチョップをするのが普通。しかしこの辺はルールが存在せず、あくまでマナーである。(フィル・ゴードンの本においては自分がポジション的に有利な右隣りとはチョップせず、左隣りとはチョップせよと書いてあるがそうしている人は見たことがない。)

9人卓ではチョップする人が多数派だが、6人卓ぐらいの少人数になるとチョップばかりになってしまう可能性があるためか、チョップしない人が多い。卓にフィッシュがいる場合は、彼からチップを奪いたいのでSB対BBを早く切り上げるためチョップした方が良くもしいない。そのフィッシュが自分の右隣りにいるならば、チョップせず普通に勝負したほうが有利。

マストムーブ(卓): 同じレートのカッシュゲーム卓が2卓以上ある場合、人数調整をやりやすくするために設定される卓。この卓に座った場合は、メイン卓(メインゲーム)で人数が欠けた場合にそちらに強制移動(マストムーブ)させられる。

シートチェンジボタン: (同じ卓内で)席を移動したい場合、これを持っていると優先権がもらえる便利なボタン。ディーラーに言えばタダで貰えるので、取り敢えず貰っておいて損はない。

アブセントボタン: 席を離れて、ビッグブラインドが回ってくるたびに与えられるボタン。3個貯まるとその卓から強制退去となる。席に戻ってきた後、ディーラーチェンジの度に1つつ返すことができる。

サードマンウォーキング: そのテーブルでシットアウト(一時離席)する3人目のプレイヤーは、ビッグブラインドが回ってくるまでに帰ってこないと言席を取り上げられるというルール。少人数卓になってしまうのを防ぐ効果がある。

チップランナー: テーブルでお金を渡すとチップを持ってきてくれる係の人。

ハーフレーク: 卓が少人数になった時にレークが半額になる制度。多くはテーブルの人数が6人以下になった場合に適用されるが明確な決めは無い。適用してもらうためにはプレイヤーがディーラーにリクエストする必要がある。

ワンチップコールルール: ベット・レイズに対して無言でチップを「1枚」出すのは、そのチップの額に関わらずコールとみなされるというルール。

たとえば誰かが30ドルにレイズしあなたが無言で100ドルチップを1枚出した場合、コールとみなされる。無言で100ドルと5ドルの計2枚のチップを出した場合、これは合わせて2枚なので「\$105へのレイズ」とみなされる。

5, ポーカーの教訓集(知っておくと役にたつよ！)

『ポーカーをやり始めて20分たっても誰かがカモかわからないならば、誰がカモかは明らかである。(あなたがカモなのだ。)] —ウオーレン・バフェット

『相手のカードを知ることが出来れば勝てる。
相手に自分のカードを読ませなければ(読み違いさせれば)勝てる。
つまり、相手を知り、相手を欺ければ勝てるというのがポーカーの基本原理である。』

『迷ったらフォールド。大抵の場合はそれが正解。』

『ビッグポットをプレイするのはビッグハンドのある時だけ。』

『チェックレイズは警戒せよ。その時のフォールドが利益を生む。
(チェックレイズをした相手は大抵非常に強い手を持っている。)]

『降りない相手にブラフはするな。』
『ブラフが通用するのはある程度上手い相手だけ。』
『マイクロレートではブラフはほとんど必要ない。』

『多くの場面でスロープレイはすべきではない。ベットして行ったほうが得な場合が多い。
(ただし自分がアウトオブポジションでオリジナルレイザーに対してチェックするのはOK。
また、自分が非常に強い場合(AAで場札がAT5でスーツもバラバラのような場合)もスロープレイOK。このケースだと相手にトップペアがない可能性が高く、ベットしてもすぐ降りられるだろうし、また引かれ負けする可能性も低い。』

『ターン(orリバー)でレイズされたらワンペアでは勝てないと思え』

『マイクロレートにおいてはタイト・イズ・ライト(タイトなプレイが正解)だ。』

『ルースに参加するということはやや弱いハンドでも参加することを意味する。
腕があればそれらのハンドでも利益を出せるが、腕がなければ損をするだけだ。
最初はタイトなスタイルで始め、上達とともに参加するハンドを広げていくと良いだろう。』

『すぐ降りるパッシブな相手はブラインドスチールしたり、(弱い手でもベットして)降ろして勝て。
すぐコールするルースな相手は(強い手の時だけベットして)コールさせて勝て。
マニアックな相手は(強い手で罠にはめて)ベットさせてコールして勝て。』

『ティルトしたらテーブルを離れてしばらく休憩を取ろう。そして頭を冷やそう。あるいはその日はもう切り上げた方がいいかもしれない。世界最強と言われるフィル・アイビーですらそうしている。』